



# 千葉県の20〜30年後の人口、医療・介護は？

千葉県医師会副会長

田畑陽一郎 医師



日本の人口が年々減少しているのは、皆さん良くご存じの事と思います。ちなみに、我が国の人口は、1億2千85万7000人で、千葉県は621万6000人との事です(2010年)。これが、2035年には、全国で1億1千67万9000人、千葉県で549万8000人へと減少していくとされています。このように、千葉県では、2010年から2035年までに総人口が約10%減少し、特に0〜64歳以下の人口は、24%も減少するとされています。

一方、昨年2012年から団塊の世代が、65歳となりこの世代の人々を中心に高齢者人口が増えていきます。65歳以上の高齢者人口は、今後2035年までに、先程の64歳以下の減少に比して、40%も増加していくのです。これは、全国でも5位と非常に高い増加率となっております。これらの事を踏まえ、千葉県の今後の医療需要・介護需要を考えた場合(医療費、介護給付費、施設数ともに現状維持と仮定)、千葉県では、高齢者人口の増加が多いために、それに比例し、医療需要・介護需要の大幅な増加が考えられます。

2035年の全年齢の医療面では、2010年に比べ全国の9%増に対し千葉県では18%増、75歳以上では、全国59%増、千葉県101%増と約2倍程度その需要が増加することです。また、介護面では、全国の50%増に対し千葉県では83%増、75歳以上では、全国59%増、千葉県101%増とこちらも高い需要増加率です。特に、本県の東葛北部、南部、千葉、印旛地区の2次医療圏では、県の増加率よりも更に高いのです。一方で、その他の地区は、増加率が比較的ゆるやかな地区もあるのです。

このように本県では現在でも地域により、人口や医療・介護需要のカタリが異なりますが、今後益々このカタリが進み、種々の課題が出現すると思われます。国、県行政、県医師会、郡市医師会、住民の皆様と共に、「種々の施策・対策等を考えて行くべき」と思いました。

## ミレニアム millennium

2013 September 第46号

21世紀を「健康の世紀」に…。

その願いから「ミレニアム(新千年紀)」と名付けました。

### 目次

#### 特集

耳の違和感に要注意!  
「突発性難聴」で音を失わないために 1

スポーツコーナー  
スポーツ前のストレッチ  
—肉離れにご用心— 5

新風—千葉県の最新医療情報紹介—  
生死の境で脳を守れ!  
心肺停止蘇生後の「脳低体温療法」 6

アスリートに聞く! ~スポーツとカラダづくり~  
プロボウラー 清水弘子さん 8

からだのソラシド♪ マナボット  
「子どもの骨」を徹底解明! —後編—  
成長痛のウソ、ホント?! 10

こども相談室  
りんご病について 13

千葉県インフォメーション  
かけがえのない命を守りたい—自殺対策—  
危険な違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ) 14

ミレニアム通信  
日本リウマチ友の会千葉支部 / 千葉県スモンの会 / 千葉県腎臓病協議会 16

こころの健康  
統合失調症について(その2・治療) 19

情報ファクトリー  
世界糖尿病デー 20

元気からだ! Q & A  
緑内障ってどんな病気? 21

旬食野菜クッキング  
さつまいもとキノコ海老のクリーム煮 22

医師会インフォメーション  
間違い探しクイズ 他 25